

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和6年6月21日同時配布



令和6年6月21日
国土技術政策総合研究所

調査報告（速報）をHPで公開 ～令和6年（2024年）能登半島地震による鉄筋コンクリート造等建築物 の被害調査報告（速報）～

令和6年能登半島地震による石川県能登地方における鉄筋コンクリート造等建築物の被害について、国総研及び建研が実施した調査の速報を両研究所のホームページに掲載しました。

- 建築物の転倒や沈下・傾斜といった、地盤の変状および建築物の基礎の損傷に起因すると思われる被害が確認された。基礎部分の損傷程度と比較して、上部構造の損傷程度は小さい。RC造杭基礎建築物の転倒被害は初めて確認された被害であるが、基礎の損傷に起因する傾斜被害や、傾斜・沈下に伴う1階床の盛り上がり等の被害は過去の地震でも確認されている。
- 航空レーザ計測結果に基づいて地盤変位の大きいエリアについて重点的に調査を行い、計測結果と同様の地盤変状が確認された。また、当該エリアにおいて地盤変状に起因する建築物被害も確認された。
- 航空レーザ計測による建築物の被害判定結果と実建築物被害の関係について分析し、一定の整合性が確認された。
- 本資料は、国総研ホームページ及び建研ホームページで公開しています。
ダウンロード先URL：
<https://www.nilim.go.jp/lab/bbg/saigai/R5/notojishin07.pdf>

※同時発表：国立研究開発法人 建築研究所

（問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 建築研究部

建築災害対策研究官 山口 陽（内線 4326）

TEL：029-864-4437 E-mail：yamaguchi-a92ta@mlit.go.jp